

2011年3月期 第2四半期決算説明会

2011年3月期
第2四半期経営現況報告

2010年11月11日

代表取締役社長 久保田 隆



千代田化工建設株式会社

All Rights Reserved. CHIYODA 2010

目次

1. 2011年3月期 第2四半期 事業概況
2. 事業環境の見通し
3. 2011年3月期 受注状況
4. 経営の重点施策

1. 2011年3月期 第2四半期 事業概況(1)

◆カタールプロジェクトの着実な遂行

- カタールガス社向け第6・7系列LNGプラント完工
- シェル社向けパールGTLガス処理プラント

◆その他海外プロジェクトの順調な遂行

- パプアニューギニア エクソンモービル社向けLNGプラント
- サウジアラビア アラムコ社向け重質油分解装置
- バルザンガス処理プラント、イクシスLNG、ペトロブラス FLNGなど各FEED案件

1. 2011年3月期 第2四半期 事業概況(2)

◆国内の各分野案件も遂行中

- 太陽石油殿向け RFCC(残油流動接触分解)装置
完成引渡し
- JX日鉱日石エネルギー(株)殿向け HS-FCC
セミマーシャル装置建設工事(2010年度分)
- LNG受入基地工事3件
- 医薬品設備工事
- 新エネルギー関連設備

2. 事業環境の見通し

- ◆ LNG需給予想
- ◆ エネルギー需要の天然ガスシフト及び低炭素社会関連産業の成長
- ◆ 各顧客の投資動向
- ◆ 欧米勢に加えて韓国コントラクターとの競争激化

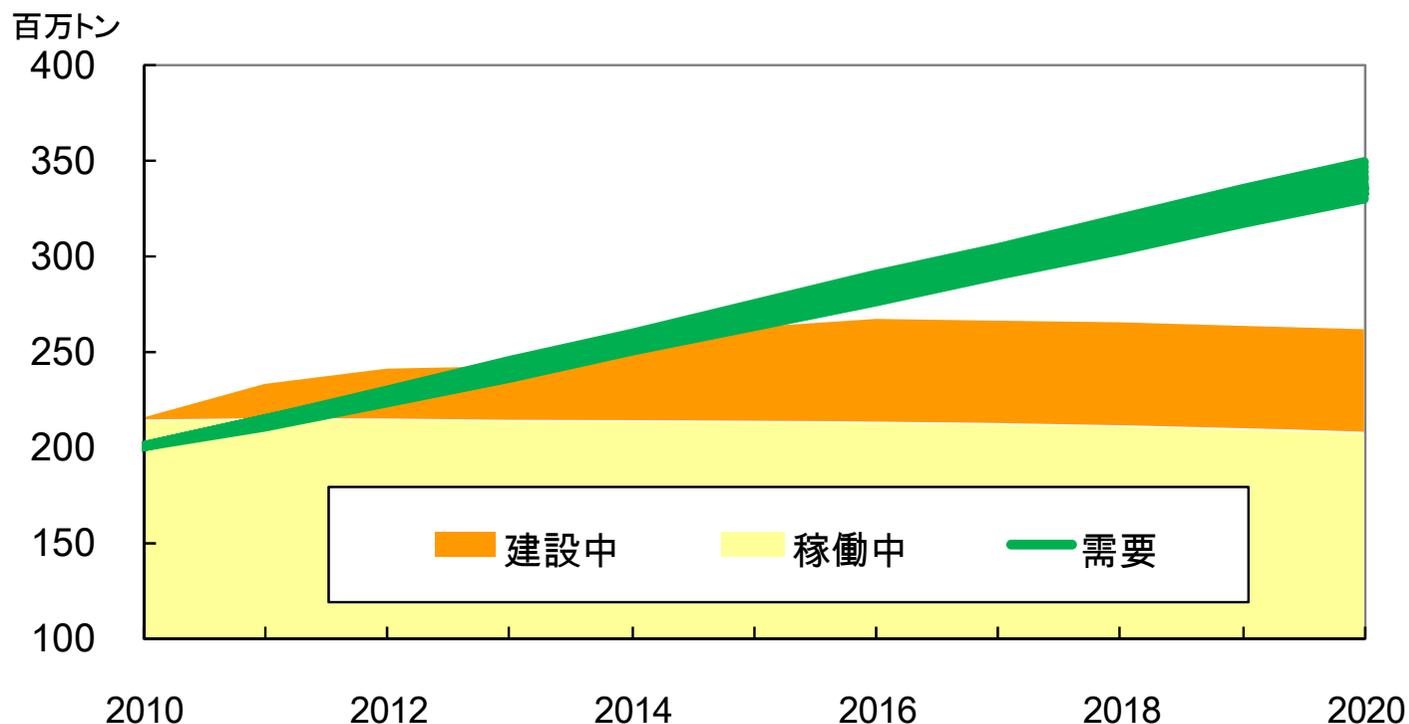
2. 事業環境の見通し(1)

◆ LNG需給予想

大型LNGプラントの稼働により現時点では供給過剰

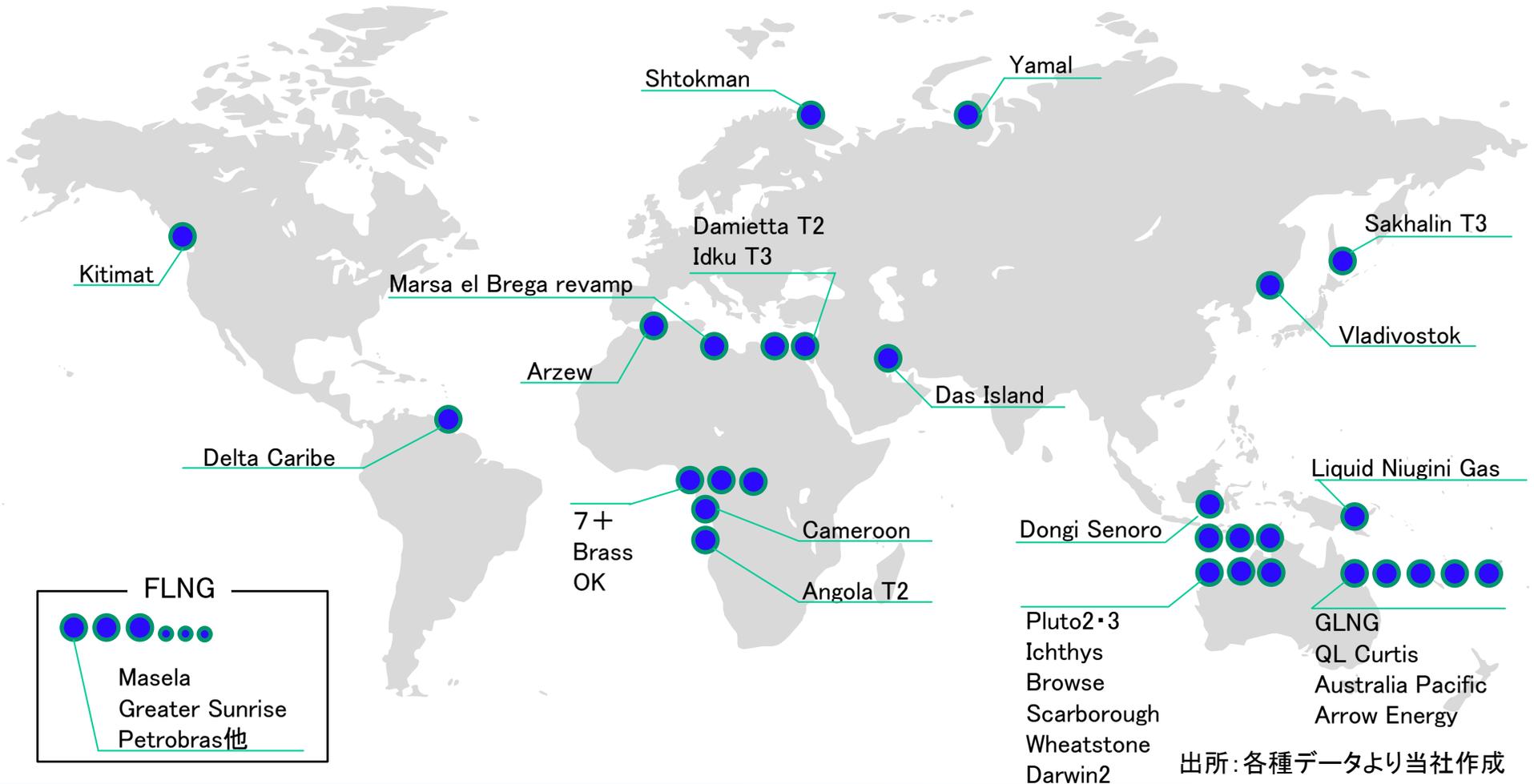
また非在来型のガス開発も米国を中心に活発化

長期的には中国、インドなどアジア諸国の経済成長でLNG需要は増加



出所: 各種データより当社作成

◆ 計画中の主要LNG案件



2. 事業環境の見通し(2)

◆ エネルギー需要の天然ガスシフト
LNGへの需要は将来にわたり拡大基調

◆ 低炭素社会関連産業の成長
さらに太陽光・太陽熱発電、電気自動車関連設備
投資が増加傾向

➤ 太陽光発電：太陽電池、多結晶シリコン

➤ 電気自動車：リチウムイオン電池、電池部材

2. 事業環境の見通し(3)

◆各顧客の投資動向

IOC: 技術力を活かせる上流案件に投資

NOC: 各国ともガス・石油関連投資が活発

日系企業: 石油・石油化学は海外成長市場へ進出拡大
新エネルギー分野で国内外投資増

2. 事業環境の見通し(4)

◆ 欧米勢に加えて韓国コントラクターとの競争激化

韓国勢は2008年、2009年に引き続き
2010年も受注増

⇒ 技術による差別化、パートナーリング、
海外設計拠点活用による競争力の
強化など諸施策にて対応

3. 2011年3月期 受注状況(1)

◆ 第2四半期の主な受注案件

- マレーシア トクヤマ殿向け多結晶シリコン工場
- 国内向けLNG受入基地
- 電源開発殿向けCO2物理吸収設備
- リチウムイオン電池関連案件
- カタールガス殿・ラスガス殿向けヘリウム抽出装置
(CAEL社)
- ストルトハーベン シンガポール殿向け化学製品
タンクターミナル(CSL社)

3. 2011年3月期 受注状況(2)

◆ 今後の受注期待案件

今期下期

- カタール バルザン ガス処理プラント
- 製油所建設工事(複数案件)

来期以降

- オーストラリア等LNG (複数案件)
- ブラジル ペトロブラス社 FLNG
- その他新地域案件等

4. 経営の重点施策(1)

◆コア事業の更なる強化(LNG)

【現在の進捗】

パプアニューギニアLNGの着実な遂行

ブラジル ペトロブラス社 FLNG FEED遂行

【今後の取組】

①将来EPC受注に向けた取り組み

②オーストラリア等LNG FEED案件への対応

4. 経営の重点施策(2)

◆ バランスのとれたポートフォリオの構築 新エネルギーをはじめとした新事業分野開拓

【現在迄の進捗】

トクヤマ殿向け多結晶シリコン工場受注

【今後の取組】

- ① 本社に技術開発事業部門を新設し、新事業分野への取り組みを集約・強化
〈太陽光・太陽熱発電、多結晶シリコン、リチウムイオン電池、CO2分離・回収、非鉄金属、インフラなど〉
- ② 海外オペレーション&メンテナンス事業展開

4. 経営の重点施策(3)

◆グループ連結経営の強化

【現在迄の進捗】

要員体制拡大し、地場の中小案件などの受注獲得
⇒カタルCAEL社、シンガポールCSL社

【今後の取組】

①地場の中小案件獲得の拡大

⇒CAEL社／CSL社／サウジアラビア CPL社

②海外設計拠点の更なる強化

⇒フィリピンCPh社、インドLTC社

本社にグループ企業統括本部を新設し、グループ
連結経営にむけた取り組みを強化

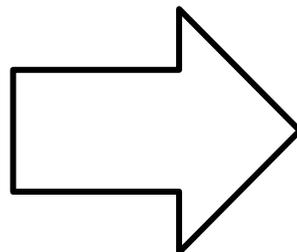
◆ 重点施策と推進のための打ち手

重点施策

コア事業の更なる強化

バランスのとれた
ポートフォリオ構築

グループ連結経営の強化



施策推進のための打ち手

M&A

業務提携

グローバルオペレーション

リソース確保

◆ 施策推進のための打ち手

- M & A
 - 業務提携
- } ⇒ {
- ・新分野技術保有会社
 - ・競争力のあるEPC会社との提携
 - ・海外設計拠点のEPC機能強化
-
- グローバルオペレーション ⇒
- ・IT基盤整備投資
 - ・データマネジメント強化
-
- リソース確保 ⇒
- ・人材拡充／高度化
 - ・活動拠点／オフィス集約化

【お問い合わせ先/Contact】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

IR・広報室長 中山 直行

Investor Relations Officer NAOYUKI NAKAYAMA

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

URL <https://ssl.chiyoda-corp.com/contact/index.php>

この資料には、2010年11月11日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。